

定期報告

2011年6月3日(金)

温度:20°C 湿度:63% 風:北西の風弱め

放射線量:0.09Sv/h:持参線量計 palmRAD Dosimeter Model 1621M (BNC)

食事

朝:ご飯、味噌汁、キャベツ、トマト、ソーセージ、ゆで卵、

レタス、枝豆、漬物、ヨーグルト、コーヒー

昼:そうめん、ご飯、梅じそ、サバ缶、りんご、

ツナとキュウリのあえもの、コーヒー、シュークリーム、ロールケーキ

夜:夕食(釜石にて)

氏名:西村 宜朗(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

6:00

起床

7:00

朝食。昨日に引き続き十分な量の食事。弊社総務と小笠原医師チーム事務との合作。おいしくいただいた。食後に部屋の掃除。

7:45

近隣の散策と朝のミーティング。我々チームのメンバーは被災地で実際歩くのは初めてとなる。実際の状況を目の当たりにして色々な感情がこみあげてきたようだ。3度目の私はただ、復旧の早さに驚いていた。

8:45

診療所ミーティング。保健師や避難所の代表を交えてミーティング。

9:00

診療開始

11:30

午前診療終了。喘息患者の点滴があったため 12:00 まで診療延長。

12:00

昼食。少し暑い中で涼しげなそうめん。

13:00

午後の診療開始。

16:00

午後診療終了。

17:00

釜石へ向けて出発。

17:30

釜石でのカンファレンス。大槌町は基本的には日赤チームと青森県医師会のチームのみのボランティアになったようだ。参加人数も20名位と少なくなり、開催日は月水金に、時間も17:30からと遅くなっている。

18:00

釜石にて夕食。

19:00

医師が外泊するため事前に避難所へ教えていた電話に、薬の受け取りの依頼の電話。帰着時間を教え受け渡しの手配をした。

19:30

2日ぶりの入浴。日程では入浴は今日だけとなる予定。熱い風呂で、皆さっぱりとした。

20:00

大槌高校に到着。

22:00

就寝

朝の打ち合わせ

保健師より、食事を残し部屋に取り置き、臭いがして問題になっているとの指摘があった。食中毒発生の可能性もあるため、避難所向けに救護所からアナウンスを希望。

仕事で朝が早い人が前日分を取り置きするケースもあるようだ。朝食が出来あがるのは6:30だが、朝が早く食べずに出かける人もいる。5:00から調理室の使用は可能だが、個人利用したくても、食事作りに利用するため、コンロの空きがない。

チラシを作り周知することも考えたが、その都度、保健師が案内することになった。避難所はプライバシーがしっかり守られているが換気には弱い設営であると小笠原医師より指摘があった。避難所の代表へ1日に1度でもすべての窓を開けきって換気できないかと提案。検討するとのこと

釜石でのカンファレンス

カンファレンス参加者が以前より減って20数名。岩手県外の医療チームは日赤と青森県だけである。大槌町は日赤と青森県のみで担当する。特に大きな問題はないようで、受診した人数を報告して終了。

薬、医療用具の使用について

最低限残っている薬を利用し、新しい薬には手をつけない方向で使用していく方針へ。箱を開封した医薬品は廃棄になることから、無駄を減らすため。場合によってはOTCも利用しよう。また、手の付いたオムツや滅菌ガーゼなど余りそうなものは利用できる所へ引き渡していく。

氏名:武長 進一(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

6:00 起床 洗面、
7:00 朝食
8:00 町田チームミーティング、散歩
8:45 救護所ミーティング、診療開始
12:00 昼食
13:00 現地診療所、避難所訪問
16:00 大槌高校に戻る
17:00 釜石に向けて出発
17:45 釜石でカンファレンス参加
18:00 釜石で夕食
19:00 釜石で入浴
20:30 大槌高校へ戻る。
22:00 就寝

町内の診療所が再開し始めるに伴い、各避難所の医療チームの撤退が進んでいる。それに伴い当初、大槌病院仮設診療所へは1日30人ほどの患者数だったらしいが、今日訪ねたところ診療所は忙しそうにしていた。

ただ、診療科は最初と変わりなく内科、外科のみで外科は火、水、木の午前のみ診療。

また、レントゲン技師などはおらず検査は出来ない状況。夜間の対応もしていない。現在、処方せんは「つくし薬局」が受けている。

大槌病院仮設診療所の移転先にも足を延ばして見てきた。ノルウェー製のモダンなプレハブがすでに建築されていて電設工事が行われていた。付近に、10m道路を挟んでクロネコヤマトの営業所があった。

氏名:齊藤 武志(総務)

体調:良好

行動日誌

6:00 起床
7:00 朝食及び掃除
7:45 町田チームミーティング
8:45 救護所ミーティング
9:00 土橋総務、南部病院古舘さんと吉里吉里地区被災地視察及び給油
11:00 昼食準備
12:00 昼食

- 13:00 武長薬剤師、土橋総務、南部病院沖田さん、古舘さんと診療所、
大槌病院仮設予定地視察
- 16:00 土橋総務と以前、佐藤総務が植えたヒマワリを確認
- 17:30 釜石カンファレンス
- 18:00 釜石にて夕食
- 19:30 入浴
- 20:00 大槌高校に到着
- 22:00 就寝

釜石地区、大槌地区、吉里吉里地区の復興状況は、それぞれ違いがあり、釜石地区はかなりのスピードで復興がすすんでいた。大槌地区は、進んでいるところもあるが、まだ瓦礫や車がそのままになっているところがあった。吉里吉里地区は、被災の範囲は少ないものの、瓦礫の撤去などはなかなか進んでおらず、浄化センターのような建物に漁船が乗ったままだった。昨日に比べ気温が上がり、ハエや小さい虫が活発に動きだした。これからは、虫よけ対策をしっかりしていきたい。

佐藤総務が植えたヒマワリが芽を出していた。元気いっぱいの花を咲かせ、大槌町の皆さんを元気にしてほしい。

氏名;土橋 千洋(総務)

体調;良好

行動日誌部

- 6:00 起床
- 6:30 朝食準備
- 7:00 朝食
- 8:00 町田チームミーティング、散歩
- 8:45 救護所ミーティング
- 9:30 斉藤総務、南部病院事務1名と吉里吉里地区への視察(ガソリン給油)
- 11:00 昼食準備
- 12:00 昼食
- 13:00 武長薬剤師、斉藤総務、南部病院看護師1名、事務1名と
藤井小児科内科クリニック、県立大槌病院、城山公園体育館、
道又内科小児科医院、大槌おおのクリニックへ移動
- 16:00 大槌高校向かいのみどり幼稚園訪問
- 17:00 カンファレンス参加の為釜石へ移動
- 18:00 釜石にて夕食
- 19:00 釜石にて入浴
- 20:30 大槌高校へ到着

22:00 就寝

今日は、吉里吉里地区へ視察に行った。大槌町に比べ、まだがれきが片付けられておらずこれからの撤去、復興作業が大変だと心が痛んだ。

そしてみどり幼稚園へは、佐藤総務担当が前回植えたヒマワリの状況観察に伺った。芽の出方はまばらだが、しっかり芽を出していることが確認できた。園児や先生達も大変楽しみにしているようだった。

今日は釜石に行き、建物が普通に建っていることに心の中にぽっかり穴が開いたかのように、変な気持になった。自分にもまだまだ出来ることがあると思い、もう一度よく考えて貴重なこの時間をしっかりと使い頑張りたい。